

年明け早々から、能登半島に震度7の地震が襲いました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。日頃の情報伝達、避難訓練がどれほど大切なものか、さらに、訓練を自分事としてどれだけ真剣に向き合えるかを改めて考えさせられました。

今月のおひさまだよりは、今月9日始業式の2日前に上町4丁目で起きた火事の際の、園内の動きをお知らせし、本当に災害が起きた時の助けにさせていただきたく思います。

「園長先生 なんか煙が・・・ 火事みたいですよ！」

「1月9日 13時50分頃 上町4丁目の木造平屋住宅で出火 隣接する空き家2棟の計3棟が全焼」これが、後日、新聞や、SNSなどから得られた情報です。

園で、異常に気づいたのは14時15分位でした。消防車が2台くらい園の前の通りを通った音が聞こえました。しばらくして園庭で園児を遊ばせていた保育者が異常なおいを感じ、正門から外につながる空を見上げると、煙が立ち上っているを見つけました。「先生、煙が上がっています。変なおいがしています。火事みたいです」と緊張した声で報告を受けました。すぐに消防署に連絡し、上町4丁目方面で火事が発生していることを確認しましたが、延焼しているのかなどの情報は得られませんでした。

100名以上の園児の安全を図るため、園内放送で全員をホールに集合させました。午睡中の0,1,2歳児全員を起こし、おんぶや手をしっかりつなぎ階段を下ろし、年少、年中、年長児はハンカチを口に当てるよう指示を出し、ホールに集めました。

職員が園外に煙が見えるところまで上がっていくと、煙は比較的まっすぐ上に伸びていました。「お迎え要請をすべきか」を考えました。園児にこの煙を吸わせ続けてもよいものか…消防署に連絡すると、何が燃えているかわからないのでできるだけ吸わせない方がよいという答えが返ってきました。これを受け、14時53分にコードモンでお迎え要請を発出しました。

私たちが状況をわからない以上に、コードモンを受信した保護者の方はわからなかったことでしょう。本当に起きている災害時の迎えは時間がかかるのです。

そんな時、園では3時のおやつ用の用意ができていました。ホールに集まったお子様は、甘いおやつを食べながら、落ち着いて保護者様のお迎えを待つことができ幸いでした。

改めて以下のことを保護者様と共有させていただきます。

- ・災害は、収束しないと消防署も全体像が分からない（発災中は「安全かもしれない」という判断は下せない）
- ・災害時の「お迎え要請」の際は、できる限り早いお迎えをお願いする（園外への避難は非常に困難を伴うため）
- ・職員が協力をして園児の安全を守り、お子様も日頃の訓練が生きて比較的落ち着いていた

これらの事実を踏まえ、災害が起こったときにより役立つ防災訓練をしなければいけないと考えています。今後ともご協力をよろしく願いいたします。

